

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年5月28日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年5月28日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【サブプレッションプール受入水タンクの堰内仮置きについて】 原子力保安検査官が、仮置きが認められていないサブプレッションプール受入水タンク堰内に、簡易タンクが仮置きされていることを確認。 簡易タンクは早急に移動予定。 今後、原因調査および再発防止対策を検討。	GⅢ	5月24日
2	【1, 2号機超高压開閉所東側における高線量のコンクリートウェイトの発見について】 協力企業作業員が不明物品調査業務において、1, 2号機超高压開閉所東側に10個のコンクリートウェイトを発見。そのうち1個について表面線量率が最大で10mSv/hあることを確認。 応急処置として、容易に近づけないよう区画を設置し、区画に線量当量率を表示。 今後、対応を検討。	GⅢ	5月26日
3	【陸側遮水壁ライン循環ポンプおよびライン供給ポンプの圧力指示計の指示不良について】 当社社員が、陸側遮水壁ライン供給ポンプ(2B-1)のストレーナ清掃工事において、ポンプ停止中にもかかわらずストレーナ前後に設置されている圧力指示計について、0.6MPaの指示があることを確認。 他のライン供給ポンプおよびライン循環ポンプに設置してある圧力指示計について調査をしたところ、ポンプ運転中に振れ幅が大きかったり、ポンプ停止中にも関わらず指示がでている等、全36台に指示不良を確認。 原因は、圧力指示計の経年劣化と推定。 圧力指示計は現場での圧力確認用であり、運転制御には用いられていないため運転には支障なし。 今後、圧力指示計全36台の交換を実施する。	GⅢ	5月20日